

バルセロナ・ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月08日 ～2025年09月16日	スペイン	ラモン・リュイ大学	・建築学専攻、基幹機械コース、機械機能工学科、先進機械コース、機械機能工学科、基幹機械コース ・修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生12名、学生バイト1名、 教員1名 (ラモン・リュイ大学) 学生6名、教員1名	小堀 芳秀(建築学科)



図1 敷地調査

12名の修士学生が本プログラムに参加を市、現地では、ラモン・リュイ大学の教員によるレクチャーを受講するとともに、バルセロナ市内の建築および都市空間の調査を行った。

主な調査テーマは「公共空間と都市緑化」および「都市農園政策」であり、特に近年注目されているスーパーブロック政策と空地利用政策について詳細な分析を行った。

これらの調査結果をもとに、学生たちは建築的提案をまとめ、ラモン・リュイ大学の学生とともにプロジェクト発表会を実施した。

発表の際には、両大学の教員から講評を受け、建築・都市計画に関する多角的な視点を学ぶ貴重な機会となった。

スペイン人のみならず、様々な国からの留学生と交流を持てたことは、異なる文化圏におけるデザインの思想に直接触れ、多様な文化背景について理解を深めることができた。

また、現地学生との協働や意見交換を通じて、国際的なコミュニケーション能力とプレゼンテーション力の向上が見られた。



図2 学生プレゼンテーション



図3 講義